

(9) 中学校音楽部会

会 長 和田祐二 (中村中学校)
副会長 下山 歩 (西土佐中学校)
事務局 和泉真智子 (下田中学校)

1. 研究主題

『聴こう 歌おう 深めよう』

2. 研究経過

実施年月日	研究のあらまし	会場	備考
令和4年 5月6日(金)	四万十教育研究会 組織総会 内容；役員選出、研究主題設定、年間計画	中村中学校	4名参加
10月18日(火)	学習会 内容：ICTを活用した音楽科の授業づくり	中村中学校	4名参加

3. 取り組み

音楽科におけるICTの活用について、講師森和也先生に来ていただいて、講話と実習を行いました。音楽科の授業では主な活動として、「歌唱」「器楽」「鑑賞」「創作」の4つに分けられますが、どの活動においてもICTを効果的に活用することができるということを教えていただきました。

- ①歌唱活動・・・歌唱場面を録画→実技の定着について振り返ることができる。
練習場面→伴奏データを入れたiPadで個人練習やパート練習がスムーズにできる。
動画サイトで参考映像等を鑑賞し、実技にいかす。
家庭に持ち帰り楽曲の予習や復習ができる。
- ②器楽活動・・・帯活動としての音遊びができる。(ループ伴奏)
練習の時には、チューナーやメトロノームの機能を活用できる。
伴奏音源を活用し、練習する。(速度変化が可能)
- ③創作活動・・・音楽作成アプリで音楽づくりができる。
即興的な力を身に付けることができる。
ループアプリやルーパーによる楽曲づくり(一人で多重録音が可能)
ジャズやブルース、まだ世界のあらゆる音楽(循環コード)で音楽づくり。
- ④鑑賞活動・・・全体で一斉に鑑賞するだけでなく、課題設定や場面設定をすることでグループ活動に活かすことができる。
事前学習として持ち帰らせて家で聴いてくる。授業では、その感想から始められる。
知識整理ができる。(自分で調べることができる)

4. 今年度の成果と課題

今年度は、音楽部会は4名という少人数での研修会でしたが、これからの音楽教育の在り方について、講師の先生からたくさんのことを学ぶことができました。研修内容も、講話を中心に、実際にクロムブックを使っただけの実習もあり、改めて、音楽活動の楽しさを感じ、今後の授業づくりに生かしていきたいと思いました。また、参加された先生方も、大変意欲的に質問するなどして、有意義な研修会ができたのではないかと思います。